

ジュニアチャレンジ終了、感想続々

今年開催したジュニアチャレンジには60名の子どもたちが参加、栗東市・草津市・湖南市の子どもたちからチャレンジに参加した感想が続々と届いています！

「生活習慣がかわった」「自分が決めた目標なので頑張れた」「継続する力を身につけられた」などチャレンジに取り組む姿勢の達成感や、「歯磨きを鏡を見ながら頑張れた」「朝ごはんをしっかりたべようと心掛けた」「早起きの習慣が身につけられた」など生活習慣をかえるきっかけになった、との感想も多くいただきました。

また、「ハグすると落ち着く」と子どもからの感想がある中で、お母さんからの感想で「子どもが小さかったころ毎日ギュッとハグして抱っこしたり触れ合うことができたけど、成長とともに恥ずかしくなったり、時間がなくてハグすることも少なくなった。このチャレンジをきっかけにまた子どもとハグを毎日できるようになりました。ギュッとするのは大切ですね」と心温まる感想をいただきました。このジュニアチャレンジが心身の健康だけでなく、家族の絆を強めるきっかけになったことは本当にうれしく思います！

たくさんチャレンジの感想届きました！

チャレンジ終了後、参加賞をご自宅へ届けると、参加した子どもからは「チャレンジ楽しかった」「チャレンジ期間は終わったけど、これからも頑張っていていこうと思う」などの声をきくことができました。

健康づくりの輪が地域の子どものたちにも広がっていることを実感しました。

(健康づくり委員会)



熱中症訪問

残暑厳しく、9月に熱中症訪問を実施

9月12日熱中症訪問に初めて同行しました。インターホンを鳴らして暫くすると返答がある方が多かったです。玄関先まで出てきてくださった方や、部屋の中に案内してくださる方もおられました。生活環境やご本人の体調は、直接会って見て初めて分かることが多く、どのような支援が必要かを考えていくきっかけになります。普段電話や、外来でのご様子とは違う一面も見られ、困っておられることもそれぞれ違います。困っておられることにひとつひとつ向き合って、一緒に解決していきますように支援させて頂きたいと思えます。これからは寒さ対策が必要な時期になっていきますので、引き続き気になる患者さんを訪問させて頂きたいと考えています。お近くで困っておられる方や、ご様子気になる方がおられましたらご連絡ください。(いびらい診療所 O・Y)

9月17日、初めて熱中症訪問に行きました。訪問看護の利用者様の自

宅に普段と違う時間帯に訪問すると、部屋が暑く汗をかいている印象がありました。熱中症予防方法を説明し、パンフレットを渡しました。今後の業務では日中の一番暑くなる気温を考慮した上で、空調の温度や服装の提案をするように心がけたいです。

(訪問看護 T・M)



能登半島豪雨災害募金のお願い

9月21日の能登半島豪雨災害で被災された方々を支援するための募金を訴えます。募金はこびらい生協診療所、及びこびらい生協事務局(にじの家サロン)に、募金箱を設置しますので、ご協力よろしくお願ひ致します。

こびらい社保・平和委員会